

東郷町、時間守って明るい町に



町制10周年を迎え

飛躍の1年に



新年おめでとうございます。

景気は好転しないままに年が明け、きびしい社会情勢は当分の間つづく感じがしますが、新年を契機に新しい気概でこの難局を乗り越えたいものです。

ただ単に、正月を祝うというだけでなく、この1年間の計画をた

て実行に移す必要があります。

今年は、4月に町制施行10周年を迎え、統一地方選挙が実施されますが、私たちの祖先が築いてきた歴史と伝統を守り、さらに発展させるための一つの節目として、次代に向けての新しい出発点となる年でもあります。

冬山にたてる煙ぞなつかしき

ひとすぢ澄めるむらさきにして

昭和54年 1 月 号 第 332 号

発行/東郷町役場・編集/企画開発課

牧 水

逆境を超えて

町長 木村 誠



昭和五十四年の輝かしい新春を迎え、町民のみなさんとともに喜びを申し上げます。

この新しい年は、本町が町制を施行して十周年を迎える節目の年にあたります。改めて町勢の今日を築いた先賢の偉業をしのび、今後の町勢発展に努力する決意を新たにしています。

昭和五十三年は、国際的には円高ドル安という国際通貨の急変、貿易不均衡をとるアメリカ、EC等の主張する貿易自由化の波が押し寄せ、これ等の現象が、内政的には構造不況産業の到来をまねき、失業者が増加して雇用不安の政状が起り、オレンジ、牛肉を始めとする農産物の輸入拡大をせまられ、これに対応することが、我が国農政の重要課題として論議されています。それだけでなく、このような世界経済、国内経済の影

響は、米の減反政策、生産牛の価格低迷など直接町の主幹産業である農業経営にも波及しています。このような多事多難なかで、世界的には中東和平の兆しがみえ政府多年の懸案事項であった日中の国交正常化が達成され、内政的には年末に新内閣が誕生して、新しい年への期待感がもたらされています。

私は、昭和五十年四月皆さんのご支援をうけて町長に就任以来、きびしい町財政の現状をみつめながら、企業誘致の推進、社会資本の蓄積、教育施設の整備充実、辺地へき地の振興など過疎現象から脱脚するための所得格差の解消を重点施策として進めることを約束し、町議会を始め町民の皆さんの理解と協力を得て任期の四年間を懸命に努力してきました。

農山村の都市化による生活観の変化、生活関連施設など内容の多様化による価値観の変化などによって、果してどれだけ皆さんの期待にこたえられるかが、今ひとつ行政の運用に創意工夫が足らなかつたのではないのか、と今静

かに自分の進めた施策の是非について反省し、行政担当者としての責任の重さを痛感しています。昨年は、皆さんが要望した行政需用の中で最も大きなウエイトを占めていた交通網の整備について一応のけじめをつける意味で、他の事業との均衡を図りながら最重要事業として整備改良を重ねてきました。

この間、企業誘致の推進については、中小企業の誘致はある程度約束を果すことができましたが、所得格差差正の起爆剤としての大企業誘致については、受入れに万全の態勢を整えながらも、企業の国際経済社会の変化に伴う輸出不振等の事情もからんで、任期中に実現することができず残念でなりません。ただ現在においても企業側とも絶えず接触を続けていますので、近い将来必ず誘致を実現して町民所得の向上をめざし、農工併進の調和のとれた施策の展開によって過疎現象の解消を図ります。社会資本の蓄積については、農村総合整備モデル事業を始め、第二期農業・林業構造改善事業、山村振興第二期対策事業、国営農用地開発事業など幅広い国・県の制

度事業を導入して、町財政の財源不足を補いながら最大の努力をしながら積極的に進めてきました。教育の充実については、教育は百年の大計であり、遠大な計画と投資が必要であることを肝に命じ教育委員会とも緊密な連繫を図りながら、人づくり運動の実践活動を中心にとり組むとともに、教育諸施設の整備についても積極的に推進しました。

また、辺地へき地の振興については、へき地またはこれに類する地域にあるため他の地域と同等の生活基準が享受できない地域について、当分の間特別の措置を講じ等しく町民の福祉を増進し生活水準の向上を図ることを目的として議会にはかり、「東郷町へき地等振興対策要綱」を制定するとともに、長崎、日田尾、鶏戸木、河原、瀬平、つづり内、下渡川の各地区をへき地として指定し、町道を始め農道、林道など道路網の整備や集会施設の設置など、これ等地域の整備を積極的にすすめて生活水準の向上に努めてきました。

新しい年を迎え、私に残されたわずかの任期を更に心に引きしめて町勢発展のために専念し、皆さんの信託にこたえる所存です。この四年間、皆さんからいただいたご協力に対し、厚くお礼を申し上げ、年頭にあたり、皆さんのご多幸とご健康をお祈りします。

成人おめでとう

五日は、町の成人式です。この日に実施するようになつてから、帰省者も多数参列するようになりました。今年の該当者は、昭和三十三年四月二日から昭和三十四年四月一日までの間に生まれた人で、当日は、国旗を掲げてみんなで祝福しましょう。

- ▽寺迫区 高瀬秀伸 黒木文利 黒木克己 黒木利光 橋口富美代 隈江しおり 黒木よお子 黒木孝子 黒木洋子 黒木さつき 黒木ミサ子 橋口和世
- ▽福瀬区 直野雄二 小林佳光 木村泰志 川越清美 岩本重徳 高尾初信 岩田雄史 岩本末広 塩月良平 直野広子 田辺富子 田中妙子 岡田幸子 岡田智恵美 海野千浪 川越アヤ子 平瀬保子 岩田富美代 川口三恵子 岩田早苗 田辺ひとみ 中村まり子 直野ちよみ
- ▽小野田区 畝原広 橋口利博 海野雅彦 後藤広 寺原光則 若林義裕 矢野正一 橋口美千子 海野真理 塩月京子 畝原利江 福良真理 田中朋子 糸平富士子 佐藤裕子 那須なおみ 峯瀬陽子 橋口節子 鈴木まり子 寺原由美 田中文代

町政躍進の年に

議会議長 黒木利男



昭和五十四年の年頭にあたり、町議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。輝かしい新春を迎え、町民の皆さんとともに栄えゆく東郷町の将来をこぼきあわせて町政の伸展をお祝いします。

顧りみますと、昨年はオイルショック以来の不況から脱することなく円高ドル安という予想もしない程円が強くなり経済の混乱もまねいています。また、我々農村にとっては米の余剰による水田転作が実施され、本町でも五十五分の作目転換がなされました。これが今後十年間も実施されてゆくことを思うと気のいらだちさえおぼえます。一方では海外諸国から農畜

産物の輸入をせまられ、輸入の拡大をよきなくされた多難な年でしたが、今後の農政はこれをきけて通ることはできませんし、これに対応していかなばなりません。今後は、もつときめ細かな政策がとられるものと期待しています。このようにいいますと暗い感じがかりしますが、町政全般をみますと農村総合整備モデル事業、振興山村事業など国県の制度事業と合せて積極的な財政投資が行われ、町内のあちこちに生活改善センターが建ち、生活道路を含めて町道の整備も進み、不況とはうらはらに生活環境は整い、住みよい町づくりが伸展したことは全町民の愛郷精神が極めて旺盛なこと、立

充実した教育を

教育長 木村 映一



輝かしい昭和五十四年の新春を迎え心からお慶び申し上げます。本年は、県民多年の念願であった「宮崎国体」が開催される年として県はもちろん、本町にとって記念すべき年になります。この機会に町民一人一人が国体の開催の意義をふまえ、創意と工夫

をこらした行事の導入によって町勢伸張の年にしたいものです。学校教育については、教職員をはじめ町民各位のご理解とご協力によって、物心両面にわたる学校環境の整備充実が図られ、着々とその実績が現われつつあることは誠に喜ばしい限りです。さきほど決定されました教育課程の改訂は、今日までの教育の現状をつぶさに検討し将来を展望して

小・中・高校一貫した学校教育本来の姿を表現することを旨としたもので画期的な改訂といわれ、即ち「教育内容を精選し、ゆとりあるしかも充実した学校生活のなかで知、徳、体の基礎と基本を確実に身につけ、身心ともに健康な人間性豊かな国民の育成を期する」とあります。よくいわれる知育偏重、落ちこぼれ、落ちこぼしあるいは人間性の喪失など教育界に寄せられる深刻な問題も山積していますが、これらの問題解決のためにも学校環境の整備充実が強く要請されます。社会教育では、青年、婦人など各種団体の積極的な研修活動、豊かな環境づくり、町体育協会の精

私達の祖先が築いてきた歴史と伝統の町東郷町に、次代を背負ってたつ青少年が生きる喜びと誇りと責任を感じるような町づくりのために学校、家庭、社会が一層の連携を深め、本町教育の進展のため努力しなければならぬと心を新たにしています。町民の皆さんのご理解、ご協力を切にお願ひします。

- ▽鶴野内区 金子伊三郎 新本賢吾 塩月政実 白川英子 寺原多美代 吉野千草 鈴原優子 宮田法子 三浦千秋 中竹津子 福谷朝子 成合喜久代 岩見珠代 林伊鶴子
- ▽迫野内区 佐藤三三男 佐藤弘 川口正一 黒木徳代 佐藤多美子 池田多美子 佐藤千鶴 黒木正子 藤榮美智子 黒木由紀子 佐藤美智代
- ▽八重原区 高山睦男 橋本光一 奈須英子 寺原はるみ
- ▽田野区 黒田正 稲田弥恵子 谷口佐代子 稲田幸千代 稲田豊子
- ▽羽坂区 甲斐元重 三原房見 福田誠志 佐藤徳雄 寺田とし子 黒木美千代 川野美和子 橋口優子 黒木靖子
- ▽仲深区 三浦元生 水野澄尾 山本寿美代 橋口ひとみ 水野まこと 水野進子 中野亜紀子 川島慶子 寺田百代
- ▽坪谷区 酒井泉 酒井伸一 稲田純郎 寺原正 矢野寛弓場和宏 寺原明人 矢野等那須裕之 矢野純子 那須裕子 川野清子 矢野尚子 海野美智子 稲田愛子 那須末子
- ▽越表区 田中利宏 海野真吾 菊谷洋 川崎真真 海野明彦 海野宏見 中里美恵 海野治子 橋口照美
- ▽下渡川区 山床貞雄 甲斐安則 山床まさ子 甲斐純子 甲斐愛子



黒木和博 寺迫 昭和42年生



関野由美子 福瀬 昭和42年生



矢野信平 小野田 昭和30年生



塩月リウ 鶴野内 明治16年生



佐藤久男 迫野内 昭和18年生

今年は六年生になる年です。最上級生としてはずかしくない行動をとり下級生のめんどうをみてあげたい。宅習にも力を入れ家の手伝いもしていきたいと思っています。

私の今年の目標
一、人のいやがることを、自分から進んでやるようにしたい。
二、最上級生としての自覚をもち悔いのない一年間をすごしたい

今年二十四歳になりますが、まだ尻の青い年男です。今年も、たくさんやりたいことがあります。が、一日一日を大切にしていきたいと心を新たにしています。

目が不自由なので、ラジオをききますが、歌番組よりもニュースや相撲、野球が好きです。風呂はどんな風雨の日にも絶対入りませぬ、あとの晩酌が楽しみです。

現在、瀬越会(林業グループ)の会長ですが会が低迷中です。林業研修センターの完成を機会に、会をたてなおし研修活動を深めて農林業の規模拡大を図ります。



寺原美都代 八重原 昭和30年生

社会に出て初めての未年です。この記念すべき年をばく然とすごすことなく、これを契機に将来役立つようなこと、習いごとなどをしてみたいと思っています。

顔おオ顔おオ
今年のかオ
今年のかオ
今年のかオ
今年のかオ

今年のえと(千支)は「ひつじ」です。現在、日本では旧暦は使用されていませんが、その年のペットネームのかたちで動物の千支だけが親しまれています。



ひつじ年生れの人、全般的におとなしい人が多いといわれていますが、各地区の代表者に登場してもらい、今年の抱負を語ってもらいました。(敬称略)



黒田正道 田野 大正8年生

暖かいやさしい心境で新年を迎えました。高血圧症なので健康第一にして無理することなく、養蚕にも拍車をかけ農業ひとすじにがんばっていきつくりです。



小林トモ 羽坂 明治28年生

目が少し不自由になりましたが姉(88歳)が元気なので、負けないうように長生きをしたいと思います。余生は、毎日おいしいものを食べることを楽しみに生きます。



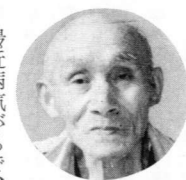
三浦敏市 仲深 明治40年生

長男一家が日向に在住しており妻とがんばっているのですが、まだまだ老けこんではいられません。高血圧症のため体に気をつけて椎茸生産に力を入れたいと思います。



大塚アサノ 坪谷 明治40年生

昨年は東京見物もしたし、飛行機にも乗りました。血圧が高いのであまり無理はできませんが、主人ともども元気で働いて楽しい一年にしたいと考えています。



河野辰治 越表 明治28年生

最近病気がちで、老人クラブの活動にも参加できないため、好きな晩酌もやめて健康に注意しています。何といても、家族が元気ですごせることが一番です。



日高妙子 下渡川 昭和6年生

五人家族のうち、主人(昭6)娘(昭30)と私の三人が未年です。この十二年に一度の当り年が最良の年であり、家族全員が健康ですごすことができれば幸いです。

28日に初の婦人祭

第一回町婦人祭が一月二十八日(日曜日)に開催されます。時間は午前九時三十分開会で、会場は中央公民館があられます。これは先の役員会で決定されたのですが、開催の趣旨は「町内の婦人があつまる、地域活動の実践発表の機会をもち、これを通じて会員相互の親睦と連帯の和を広げ、婦人会活動の発展とより明るく住みよい郷土づくりに資する」とされています。

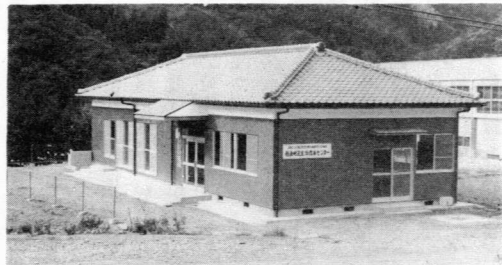
「婦人の連帯の和を広げよう」をスローガンに開催される婦人祭では、地域活動の実践発表のほか、演芸大会、バザー、作品展示会などが計画されており、町婦人連絡協議会では、町民多数の来場を呼びかけています。

盛大に青年祭

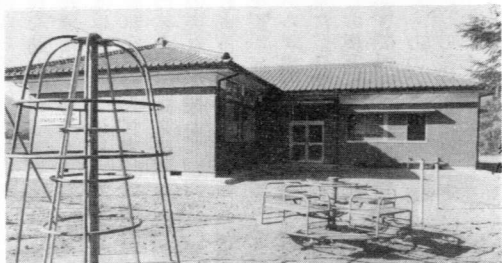
十二月三日、中央公民館で第六回青年祭が開催されました。当日は、午後一時からの開会式の後、「郷土に燃そう若い力」をスローガンに、各地区青協代表による主張発表が行われ、最優秀賞に福瀬の直野美智代さん、「足あと一歩」、優秀賞に寺迫の海野傑君、「青年活動と私の選んだ道」が選ばれました。

また、物産展では、小豆、ばれいしよ、バター、チーズなどが飛ぶように売れ、全部なくなるほどの人気でした。午後から夜にかけては、各地区の秋の例祭で催した演芸などが披露され、次代を担う青年たちの熱演に会場的一般客から盛大な拍手をあげました。

この青年祭は「町内の青年があつまる、芸術文化等の総合機会をもち、これを通じて相互の親善を深め相対し、健全な住みよい郷土発展のために寄与する」ことを目的として実施されています。



越表地区生活改善センター



羽坂地区生活改善センター



広瀬地区生活改善センター

これで便利に

越表。羽坂。広瀬に
生活改善センター

越表、羽坂、広瀬三地区の「生活改善センター」が完成し今月から利用されることになりました。この生活改善センターは、山村振興第二期対策事業として建設を計画、五十三年四月に国の承認をうけ、八月着工、十二月に竣工したもので、各施設の概要は、つきのとおりです。(①設置場所 ②事業費 ③構造 ④内容の順)

▼越表地区生活改善センター
①越表区田口原 ②千四百万円
③木造平屋建一三七㎡ ④集会所五二㎡、研修室兼ステージ二五㎡、調理実習室一八㎡、生活改善室一八㎡、玄關ホール一三㎡、便所七㎡

▼羽坂地区生活改善センター
①羽坂区井尻 ②千六百万円

▼広瀬地区生活改善センター
①福瀬区広瀬 ②千百万円 ③木造平屋建一二七㎡ ④集会所五二㎡、研修室兼ステージ一九㎡、調理実習室一六㎡、生活改善室一六㎡、玄關ホール一三㎡、便所七㎡

この三地区は、今までの集会施設が老朽化、あるいは手狭になっていたため充分な地区活動ができませんでしたが、完成したセンターは、地区のいろいろな行事や、研修の場として活用され、地域開発に役立つものと思われれます。

税あれこれ

贈与税の申告はお早目に

所得税の申告と納税は二月十六日から始まりますが、贈与税の申告と納税は、ひと足はやく二月一日から始まります。

昨年一年間にもらった財産の合計額が六十万円を超えるときは、税務署に贈与税の申告をしなければなりません。

贈与税は、人から財産をもらったときにかかる税金ですが、ついさうっかりして申告を忘れ、後で大変困ったという例が少なくありません。それというのも、財産の贈与は夫から妻へ、親から子へというように、主に家族の間で行われることが多いためだと思われ

ます。また、土地や住宅などを、何気なく奥さんや子供さん名義に登記したり、親子の間で「有る時払いの催促なし」のお金を借りた場合なども贈与税の対象になりますからご注意ください。

ところで、結婚されて二十年以上上になられる夫婦間の贈与には、特例があります。居住用の土地、家屋をもらった場合や、これらを買ったために現金をもらった場合には、一千万円の「配偶者控除」と

六十万円の「基礎控除」とをあわせて一千万円まで税金はかかりません。しかし、この特例を受けるためには、贈与を受けた土地家屋の登記簿謄本などの書類を添付した贈与税の申告が必要です。

贈与税の申告と納税は三月十五日までです。税金の計算はどのようにするかなど、お分かりにならないときは早めに税務署又は税務相談室にご相談ください。担当の職員が相談に応じています。

今年も確定申告の時期が近づきました。サラリーマンの方は勤務先で年末調整を済ませるとほとんどの方は確定申告をしなくてもよいしくみになっていますが、災害を被ったり、多額の医療費を支払ったり、住宅を新築したりした方などについては、特別の控除があり、確定申告をすれば、すでに源泉徴収された税金が返ってくる場合があります。

還付申告は早めに

この還付を受けるための申告はいつでもできますが、確定申告の時期になりますと、会場が混雑します。早目をお願いします。

また、国税局の税務相談の窓口として「税務相談室」が設けられており、主要な税務署には、「税務相談室の分室」が設けられています。知識や経験の豊富な相談官が納税者の皆さんの税金に関する相談や苦情をお聞きし、その回答や解決に当たっています。忙しい方や遠隔地の方のために、電話による相談(テレフォンサービス)も行っています。どうぞ、お気軽にご利用ください。(税務課・延岡税務署)

また、還付申告のことでお分かりにならないところがありましたら、もよりの税務署か税務相談室にお気軽にご相談ください。

税の相談はお気軽に

今月も所得税の確定申告と納税の時期が近づきました。帳簿の整理や決算はお済みでしょうか。所得税の確定申告と納税は二月十七日から三月十五日までとなっています。期限まぎわになつてあわてないように早目に準備にとりかかりましょう。

税務署では、納税者の皆さんが気軽に相談できるように「近づきやすい税務署」づくりを努めています。帳簿の付け方や決算の方法が分からない方には、青色申告指導担当の職員が、土地を売ったり贈与を受けた方のためには、資産税担当の職員が、それぞれご相談に応じています。

また、国税局の税務相談の窓口として「税務相談室」が設けられており、主要な税務署には、「税務相談室の分室」が設けられています。知識や経験の豊富な相談官が納税者の皆さんの税金に関する相談や苦情をお聞きし、その回答や解決に当たっています。忙しい方や遠隔地の方のために、電話による相談(テレフォンサービス)も行っています。どうぞ、お気軽にご利用ください。(税務課・延岡税務署)

野々崎丹後

仲瀬神社の御神体は、野々崎丹後が合祀されています。去る七月町内神社総代会で町内各神社を巡視した時、中野辰己さんがこの丹後の話をされた

私は興味深い話と思い、古老の中野弥一郎さんが史実通だと聞いて、野々崎の自宅を訪ねて、詳しく聞かせて貰いました。天正年間の頃、日向市塩見は、塩造り場であつたそうです。ところがどうしたのか急に塩が取れなくなつた。村人は下思議に思つている時、野々崎丹後なる者が塩作りの祈禱を熱心にはじめたところ塩が元通り取れるようになった。村人は大喜びで丹後に感謝した。これをそねんだ土地の行者達が丹後を討つことになった。丹後の奥方は心配して、丹後に逃がれ去る様取計らい、自ら行者達を相手に戦つたのです。遂に利あらず奥方は討死の悲しみにあつた。日知屋安野神社御神体がこの奥方だそうです。

山陰風土記

穴に隠れたのです。ほら穴の前には大きく張られたくもの巣が敵の目をくらました。だが夜明けを告げた鶏の一声が遂に丹後の運命を断つたのです。追手に引出されて斬られ悲しい事となつたのです。野々崎の村人達は丹後をいたみて墓を建てたり、丹後が好きだった鶏を飼わないことにした。今の仲瀬神社が初に野々崎大明神又は元宮様と申していた頃に丹後はこの大明神に合祀されたのだそうです。

丹後と野々崎とのつながりはつまびらかではないが、仲瀬神社南方県道筋の田圃に道祖神が建っている。昔観音堂があり、鍔二具が納まっていた。その紋所が桔梗であるところよりして、明智左馬頭と言ひ伝えられている。この鍔は最近まで現存していたとか。又鍛冶野々崎次郎左衛門なる者の名が稲葉野の小さな宮の棟札に書き残してあるとの事より総合して想像すると、丹後は、由緒ある明智家と深い関係があるように思われるのです。惜しいことに丹後の墓を見出せなかったのが心残りです。(都甲鶴男)

駐在所たより

事件事故のない町を

明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願ひします。景気は一向に好転のきざしをみせません。そのせいか、各地で世情を反映した殺人、暴行、傷害、銀行強盗、旅行盗犯、交通事故など新聞、テレビを賑わす事件、事故が多発しています。特に町内の交通事故については人身事故、物損事故を合せて、山陰駐在所管内で四十件、坪谷駐在所管内で十五件、美々津管内で五件と合計して六十件の事故が発生しています。

昨年、日向署管内で十二名の死亡事故が発生していますが、そのうち三分の一にあたる四名が町内で死亡しています。ただ、死亡した人は町内の人ではありませんでしたが、事故の発生率は、他の市町村に比較して非常に高いようです。その意味も含めてか、事故者居住地調べリスト順位は、県下四十四市町村のなかで悪い方から十二番目になっています。誠に情けない成績です。

どうしても避けられない事故ではなく、運転者の過失が原因の事故が大半を占めているようです。これは個々の運転者のモラルの問題だと思います。車が私たちの足になった車社会

正調もちつき

鶴野内保育園で、園児による初めての餅つきが行われました。

これは「餅つき」を知らない園児の父兄が呼びかけ、12月9日にこの計画が実現したものです。

当日は、餅米15kgをつきあげ、正月用の鏡餅、赤・青・白の三色餅を園児の手でつくりました。

最近では、餅つきも機械化されほとんどの園児が、昔ながらの方法を知らなかったため、喜ぶ姿をみた父兄は、この行事を毎年続けていくことにするそうです。



くじけずに

「東郷町傷痍軍人妻の会」(青柳浅江会長=会員9名)の会員が12月20日に、養護老人ホーム「鈴峰園」を慰問しました。

出身地の会員と再会を喜び合うおとしよりたちを見て、青柳会長は「自分たちの主人も身体が不自由なので淋しい気持、人にたよりたい気持は充分わかってはいます。毎年つづけていくことを約束していました。」





高額医療費の支払いに

貸付制度が発足

最近、医療費が年々増加し、被保険者が負担する一部負担金(窓口支払分)は、高額を支払いをしなければなりません。ことに、入院患者を有する世帯はなおさらのことです。

現在は、昭和五十年十月から高額療養費支給制度が実施され、入院時に一ヶ月の一部負担金が三万九千円を超えた場合に適用されますが、この制度は、償還払いを原則としているもので、病院の支払いを済せていることが条件とされさらに二ヶ月後でないとい支給されません。

このことが、多額の負担をする被保険者にとって大きな問題であるため、「高額療養費支払資金貸付基金」を設置し、多額な支払いで困っているかたに対し、社会保険、国民健康保険を問わず無利息で貸付けて救済しようとするものです。

昭和五十四年一月診療分から適用されますので、利用されるかたは、役場住民課保険衛生係でおたずねください。

住宅金融公庫の受付

- 公庫の個人住宅建設資金貸付けの受け付けが次のとおり行われます
- ▽受付 昭和五十四年一月後半
- ▽選定 受付日順に無抽せん
- ▽貸付利率 年五・〇五%
- ▽融資額 木造二三〇万円以内
- ▽返済期間 木造二五年以内
- ▽問合先 役場建設課
- 住宅金融公庫熊本支所

勤労者美術展出品受付

県では、勤労者が勤労の余暇に創作した作品を一堂に展示して広く一般の鑑賞に供するとともに、職場における美術活動の振興と、生きがいのある福祉社会の向上に資することを目的とした勤労者美術展の作品受け付けを次のとおり行ないます。ふるって出品ください

- ▽作品都門 絵画・書道・写真
- ▽資格 県内勤労者と家事従事者
- ▽受付期間 1月24日～1月29日
- ▽搬入先 延岡商工労政事務所
- 電話 延岡〇二八六二
- 交通事故の相談は
- 相談センターへ

十一月一日付で、自動車任意保険

の一部がつきのように改正になりました。

- ▽担保内容の充実
- ▽取扱内容の変更
- ▽事故の際の手続き変更
- 事故でお困りの方は遠慮なく相談されるようおすすめます。
- なお、相談料は無料です。
- ▽相談先
- 社団法人日本損害保険協会
- 宮崎自動車保険請求相談センター
- 〒
- 宮崎市広島二丁目五番十号
- 朝日生命ビル三階
- 電話 〇九八五〇一九九

祝祭日には国旗を

一月は町成人式をはじめ、国・町の祝祭日が多い月です。当日は国旗を掲げ、祝福しましょう。

お祝い電報の上手なうちかた

お祝い電報は、配達日の三日前までに打てば「一五〇円」の割引があります。

大安日、土曜日、日曜日などの「一五番」電話は、大変こみあっています。電報電話局では十日前から受付けていますので、希望する配達日を指定して、ゆとりをもつて早目に発信することをおすすめします。

今月の税金	
町県民税	4期
国民健康保険税	6期
納期限	1月31日

善意のともしび

忌明け付として、つきのかたから善意がよせられました。

- ▽坪谷の矢野周さんから (逸治さん・85歳ご死去)
- ▽羽坂の寺原義雄さんから (ノエさん・75歳ご死去)
- ▽福瀬の高尾武久さんから (コメさん・90歳ご死去)
- ▽日向市の金丸藤美さんから (カズさん・77歳ご死去)
- ▽追野内の黒木静香さんから (シゲさん・87歳ご死去)

今月の心配ごと相談日

1月16日(火曜日)
東郷町社会福祉協議会

まちのうごき

人口	6,744人	(-7)
男	3,302人	(-10)
女	3,442人	(+3)
世帯数	1,750戸	(-2)

53年12月1日現在
()は対前月比

戸籍たより

11月届出

出生おめでとう	赤ちゃんの名	父の名	住所
橋口智美	慶健	正一	小野田
山田幸子	信勝	豊夫	鶴野内
岩見哲次	徳仁	誓生	鶴野内
海野仁誓	徳仁	誓生	鶴野内
西口友紀	徳仁	誓生	鶴野内

結婚おめでとう

氏名	住所
佐藤代百合	都農町
青野邦誌	八重原
関口逸末	鶴野内
高谷光光	南郷村
福高谷光	福瀬
三浦逸勝	愛媛県
日高市	日向市
山中崎里	越表
山崎保	越表
東寺米政	追野内

ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
橋口今朝夫	76	小野田
奈須芳美	46	八重原
小林栄子	62	福瀬
小谷隆	62	追野内
三浦巖	73	田内
黒木サノ	67	寺内
矢野逸治	85	坪谷
寺原ノエ	75	羽坂